Bridge

東北電力社誌｜ブリッジ｜

1996 5
Vol.430

特　集　原子力発電をご理解いただくために



特 集

原子力発電を ご理解いただくために

阪神・淡路大震災の発生，高速増殖炉「もんじゅ」のナトリウム漏れ事故，そしてこの４月には，旧ソ連のチェルノブイル原子力発電所の事故から10年目を迎え，お客さまや地域社会の中に原子力発電所の必要性に対する疑念や，安全性に対する不安が高まりつつあります。

このような状況の中で，お客さまに原子力発電をご理解いただくために，私たちはどのような心構えで原子力ＰＡに臨めばいいのでしょうか。

今回の特集では，原子力をめぐる逆風が強まる中で，原子力ＰＡの重要性を改めて考えてみます。

東北電力社誌
Bridge
1996
5
Vol. 430

表紙：本年７月の電調審上程を目指す東通原子力発電所１号機（完成予想図）

C O N T E N T S

1 特集
原子力発電をご理解いただくために
8 平成７年度 電力需給実績
10 マンスリーNEWS
●女川原子力発電所
３号機に原子炉設置変更許可
●新潟・仙台天然ガスパイプライン竣工　ほか
15 LOOK WORLD
世界のＩＰＰの８割がアジアに
16 知っておきたい原子力のはなし
「なぜ，原子力発電なのか」その２
18 TOPICS 広報部
新作ＣＭオンエアスタート
20 TOPICS 総務部
一番やさしい独禁法入門　その３
23 掲示板
●平成８年度全社・全電力・
電力親善大会の日程　ほか
24 退職される方々
25 主要工事進ちょく率
26 読者の声・社内テレビ放送スケジュール
27 読者アンケート
■平成８年３月の電力需給実績

本誌は，古紙を40％含んだ再生紙を使用しています。

Part1

八島社長に聞く

信念の上に立ちながら誠実さと謙虚さを持ってPA活動の推進を



社誌ブリッジでは、従業員一人ひとりによる原子力PA推進のための対話活動を進めるにあたって、私たちが心構えておくべきことについて、八島社長にインタビューしました。

―私たち一人ひとりが、お客さまや地域社会の方々との対話の積み重ねによる原子力PAを推進するにあたって、どのような心構えを身に付けるべきでしょうか。

原子力発電の必要性についての揺るぎない信念を

この三月に、私から従業員の皆さんに「原子力PAの一層の推進にむけて」というメッセージを発信し（社誌ブリッジ四月号にも掲載）、原子力への逆風がこれまでになく強くなってきている中で、「従業員の皆さん一人ひとりの対話活動の積み重ね」への最大限の努力をお願いしました。

既に、皆さんには、各店所長のリーダーシップの下、PAインストラクター、PAレディー、PAリーダーの活動とも連携・タイアップしながら、日常業務でのお客さまや取引先の方々との接触など、地域社会の方々とのあらゆる接触の機会をとらえて、対話活動を進めていただいていることと思います。

こうした対話活動を真に実りあるものにしていくためには、皆さん一人ひとりが、「なぜ当社が原子力発電を推進しているのか」「原子力発電は、なぜ必要なのか」についての基本的な考え方を、揺るぎない信念として、しっかりと身に付けることが必要だと考えています。

―それはどのような理由によるのでしょうか。

信念を支えるのは、東北電力に働く者としての使命感・責任感

こうした基本的な考え方が身についているのといないのとでは、同じ言葉でも、やはり、お客さまや地域社会の方々にとっては、伝わり方が違ってくるのではないかと思います。原子力について、当社の社員が同じように語っていても、自分の信念から湧き出た言葉で話しかけられる場合と、そうでない場合（例えば、付け焼き刃で信念の伝わらないような話し振りの場合）では、最終的に相手の方の心に残るものが、大きく違ってくるのではないでしょうか。

また、「原子力発電は、なぜ必要なのか」という基本的な考え方が身についているということは、エネルギー情勢や電気事業の抱える課題についての知識が深いということや、対話の相手の方々の心の中に残るものに差が出るということにとどまらず、東北電力という企業で働くプロフェッショナルな人間としての使命感や責任感の発露の違いとなって表れてくるのではないかと思われます。

当社が原子力発電を推進しているのは、原子力が、「燃料の供給安定性や経済性の面で当社の事業活動にとって優れている」ということにとどまらない理由があります。

「東北地域の発展」にとって、また、**「わが国のエネルギーの安定供給確保ひいては世界人類間でのエネルギー資源の公平な分配」**という面で、さらに人類共通の課題である**「地球環境の保全」**の面で、原子力発電は当社が選択しなければならないエネルギー源であるからです。

発展途上国の人口増大や経済発展などにより世界のエネルギー需給の逼迫は必至の状況にあります。また、わが国のエネルギー供給基盤は依然として極めて脆弱であります。一方、化石燃料の使用に伴う二酸化炭素排出増加による地球温暖化などの環境問題に対処するためには、原子力発電が非常に有効なエネルギーだと言えます。

東北地域の主体的発展を担う当社に働く人間として、また、エネルギーの効率的な利用と環境保全に大きな責任を持つ当社に働く人間として、「原子力発電を推進することが、当社が社会から託されている使命を果たしていく上で、不可欠なのだ」ということを、皆さんの信念として心の中に刻み付けていただきたいと思います。また、こうした私たちの、原子力の安全性確保への決意をも含めた「使命感・責任感」というものを、「誠実さと謙虚さ」を持ちながら、お客さまや地域社会の方々に伝えていただきたいと思います。

私自身の話になりますが、私は「原子力の草創期」であった昭和三十年に入社し、入社後間もなくから原子力に携わってきました。それだけに、原子力に対する思い入れもひとしおですが、原子力技術者としての業務に加え、原子力発電所の立地業務にも携わり、地域の方々と接する中で、**「信念の上に立ちながら、誠実さと謙虚さを持って」**お客さまや地域社会の方々に接することの大切さを痛感してきました。

「原子力がなぜ必要なのか」について、皆さん一人ひとりが、もう一度自分自身の揺るぎない信念に裏打ちされた言葉で、お客さまや地域社会の方々の琴線にふれるような対話活動を進めていただくようお願いいたします。

Part 2

当社が進める原子力ＰＡ
一人ひとりの役割を考える

当社は、お客さまや地域社会の方々に、原子力発電についてご理解をいただくため、これまで原子力ＰＡ活動を推進してきていますが、「原子力ＰＡ」とは、そもそもどのような活動なのでしょうか。また、ＰＡ活動を進めるには、社員「一人ひとりがＰＲマン」であることが必要ですが、それは、当社のＰＡ推進体制の中でどのような意味を持つのでしょうか。

そもそもＰＡとは何か
～社会的合意を目指して

ＰＡとは、Public Acceptance（パブリック・アクセプタンス）の略で、「幅広く地域の方々の合意を得ること」を意味しています。

原子力ＰＡが現在のような体制の下で推進され始めたのは昭和六十三年で、これは旧ソ連で発生したチェルノブイル原子力発電所の事故をきっかけとした社会の中での原子力発電への不安の高まりと、それに伴う原子力反対運動に対応するため、お客さまや地域社会の原子力に対する理解拡大を進めるためのものでした。

この間、当社は、新聞紙上などへの意見広告の掲載やテレビ番組の制作、施設見学会の実施や各種勉強会・講演会など、考えられるあらゆるツールを活用して、ＰＡ活動を推進してきました。その結果、ここ数年は原子力に対する地域社会の理解も拡大し、反対運動も沈静化に向かうなど、ＰＡ活動の成果がようやく現れはじめていました。

当面する重点課題
～なぜ、今あらためてＰＡなのか

昨年一月に発生した阪神淡路大震災。地震に対して、世界で最も強いと思われていたビルの数多くや、高速道路が倒壊するのを目の当たりにして、原子力発電所の耐震安全性についても疑問の声が上がりました。また、昨年十二月に発生した高速増殖炉「もんじゅ」のナトリウム漏れ事故により、原子力発電所の安全性や、原子燃料サイクルの必要性への疑問の声が、社会の中に広がりました。

さらに、旧ソ連のチェルノブイル原子力発電所の事故発生から十年目を迎え、現在も残っている同発電所の事故の影響の深刻さとともに、改めて原子力発電の安全性に関する不安が社会の中に広がってきています。

このような状況の中、地域の中核となっている方々や、これまで当社や原子力発電の推進についてご理解を示してきてくださっている方からも、「原子力の必要性に対する疑念」や「原子力発電所の安全性に対する疑念」が表明されるという厳しい事態になりつつあります。

また、原子力の必要性や安全性についての合意形成がますます困難になってきている中で、新規の原子力発電所立地について、新潟県巻町では、当社が立地を進めている巻原子力発電所の建設にかかわる住民投票が、八月四日に実施されます。当社は、この住民投票に向けて「巻町のお客さま全戸訪問」や「施設見学会」、そして「地区別ミニ懇談会」など、地域の方々との直接対話を基本として、原子力発電についてご理解いただけるよう、きめ細かな理解活動に全力を上げて取り組んでいます。

Ｐａｒｔ１の八島社長のお話にもあるように、化石燃料を中心とするエネルギー資源の有限性や地球環境問題への対応などを全地球的な視野で考え合わせると、今後とも原子力発電を推進していく必要があります。

そのためには、「原子力」への信頼を回復すると同時に、お客さまや地域社会の方々に、わが国における原子力発電の必要性を広く理解していただかなければなりません。このため、原子力ＰＡ活動の重要性を再認識するとともに従業員一人ひとりがあらゆる機会をとらえて対話活動を積み重ねるという、原点に返ったＰＡ活動を推進することが極めて重要になってきています。

ＰＡの旗振り役として
～原子力ＰＡリーダー制度

それでは、原子力ＰＡを推進するために、当社はどのような体制をとっているのでしょうか。

当社は、昭和六十三年に、当時高まりつつあった原子力に反対する運動を踏まえて、原子力ＰＡの基本戦略と実施展開に関する事項を審議することを目的に、副社長（または常務取締役）を委員長とする「原子力ＰＡ戦略委員会」を設置しました。

同時に、支店・支社にも同様の委員会を設置するとともに、「ＰＡ事務局」を設け、全社的にＰＡ活動を推進してきました。これに加え、「原子力ＰＡリーダー制度」を発足させました。同制度については、状況の変化に合わせた制度の見直しを行いながら、現在も原子力ＰＡ活動の「核」として位置付けられています。

また、特に平成八年度は「支店原子力ＰＡ情報連絡会議」を新たに設置したり、お客さまや地域の方々を対象としたＰＡ活動を拡大するほか、社内での原子力ＰＡ推進体制の再確認を行いながら、原子力ＰＡ推進意識の盛り上げを図っています。

さて、身近な場所で活動している「原子力ＰＡリーダー」は、実際にどのようなことを行っているのでしょうか。「原子力ＰＡリーダー」はＰＡインストラクター、ＰＡＬ、ＰＡリーダーの三つから成り立っていますが、それぞれ次のような任務を担っています。

◆ＰＡインストラクター

原子力に関係の深い部門の副部長や営業所の副所長を中心に、現在、三十二名の社員がＰＡインストラクターを委嘱され活動を行っています。

主な任務は、お客さまや地域社会の方々に、エネルギー、特に原子力問題に関心を持っていただくため、施設見学会や地域懇談会などで、身近な話題やそれぞれの得意分野の話にエネルギーに関することがらを取り入れながら説明すること。併せて、当社の抱える課題・使命を理解していただけるよう努めています。

また、社内では原子力ＰＡ教育の講師も務めます。

ＰＡの現場から・１
～ＰＡインストラクターの声



管内にある小・中学校の先生や生徒の皆さんに近くの火力発電所を見学していただきました。電力の需給状況をお話しすることで、計画的な発電所建設の必要性について理解を深めていただけたのではないかと思います。また、当社に対する親近感や、電気エネルギーへの関心を持っていただけたのではないでしょうか。

（三沢営業所　千葉新一）



「もんじゅ」の事故が原子力発電の信頼性に与えた影響は、計り知れないものがあると思います。今後は、一人ひとりが地道な「草の根ＰＡ」に取り組む必要があるといます。

（盛岡営業所　佐藤龍右）



一般のお客さまに原子力を理解していただくためには、「原子力は分かりにくい」という前提に立って、身近な話題に置き換えたり、例え話などを活用しながら話すことが大切だと思います。

（石巻営業所　武田秀蔵）



一般の方に原子力の話をした時に、原子力の必要性については興味を持って聞いていただけましたが、安全性については「技術的な話は難しい」という先入観からか、なかなか耳を傾けてもらえませんでした。

（三条営業所　西條征治）

◆PAレディー（PAL）

各支店や営業所の広報・地域交流部門業務担当の女性社員を中心とした二十九名が、PALを委嘱され、現在活動を行っています。

お客さま・地域社会の方々の中でも、特にご婦人や子供たちを対象に、施設見学会や電気教室でエネルギーや原子力関係の話をします。

技術的な話というよりはむしろ、女性の感性を生かしながら、身近で親しみやすい原子力の話ができるよう努めています。

また、PAインストラクターと同じように、社内では原子力PA教育の講師も務めます。

PAの現場から・2
～PALの声



女性は、やはり放射線と廃棄物についての関心が高いようです。また、「もんじゅ」については「こわそうだが今の生活には関係ない」というイメージをお持ちになっている方が多いようです。お客さまに対して、確かな情報を分かりやすく提供していく必要があると感じています。

（秋田支店　信田順子）



エネルギーの副読本を配布するために、中学校を訪問しました。授業内容にもかかわる話題なので、先生方の疑問や関心事などについてお話をうかがえる良い機会でした。

（米沢営業所　長岡洋子）



営業所では、お客さまサービス課以外の部署では、原子力に関する資料が少ないので、それぞれの部門で情報を共有化しながらPA活動をしていきたいと思います。

（郡山営業所　小林由里子）

◆PAリーダー

本・支店、営業所、発電所などに、三百三十五名配置されています。

各職場で、「草の根PA」の核として、PA意識の高揚やエネルギー・原子力に関する情報提供を行います。

「PAをする機会が少ない」、「思うように気持ちが伝わらない」などさまざまな問題点を克服しながら、PAインストラクター、PAレディー、PAリーダーは、着実に活動を行っています。しかし、PA活動は各PAリーダーだけが行うものなのでしょうか。

一人ひとりがPRマン
～PAリーダーと連携しながら

皆さんも耳にしたことがあると思いますが、「PA（パブリック・アクセプタンス）」と「PR（パブリック・リレーションズ）」とは別のものです。PAは、幅広くお客さまや地域の方々の合意を得ることを目指すものですから、こちらの知らせたいことを一方的に伝えるだけではなく、お客さまや地域の方々の関心や要望に耳を傾け、それらをフィードバックしながら情報を提供していくことが大切です。

このような活動の機会は、PAインストラクター・PALが電気教室や施設見学会で行うコミュニケーションの場だけにあるのではなく、私たち一人ひとりの日常業務の中にもあるのではないでしょうか。「原子力の話は難しいし…」などと、しり込みしないでください。難しい質問には、身近にいる「PAインストラクター」「PAL」そして「PAリーダー」が手伝ってくれるはずです。



PA活動には「定石」や「マニュアル」があるわけではなく、ケース・バイ・ケースで工夫が必要であり、また、時間のかかるものです。つまり、PA活動に特効薬はなく、地道な活動を少しずつでも着実に続けていくことが大切だと言えます。そこで、私たちが「一人ひとりがPRマン」という自覚のもとに、さまざまな機会をとらえてPA活動をすることが大切となります。

効果的にPAを
～当社が制作した「原子力PAツール」

原子力PAグループや各支店などで、さまざまな原子力PAツールを制作していますので、そのいくつかをご紹介します。



〈青森支店〉
生活に関連づけたエネルギーの話題や，県内のエネルギー施設の紹介だけでなく，青森県にまつわる事柄も掲載



〈広報部〉
当社主催のセミナーという設定で，原子力についての素朴な疑問に答える



〈福島支店〉
原子力発電の必要性や安全性，環境問題との関係など，テーマごとにカラフルなイラストを用いながら易しく解説しているリーフレット



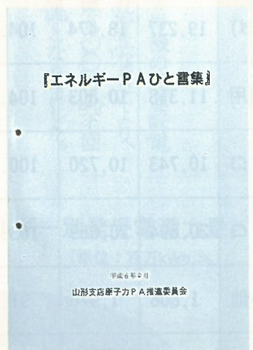
〈広報部〉
メモ帳。１枚１枚には「みんなで考えよう、明日のエネルギー」とのメッセージが



〈新潟支店〉
１ページごとに１問１答の形式。地域に密着した話題も盛り込まれている



〈いわき営業所〉
原子力発電の安全性編，必要性編，廃棄物処理編の３項目で構成されており，ポイントがコンパクトにまとめられている



〈山形支店〉
支店管内の全従業員を対象に募集し，集まった中から選ばれた58編のエネルギーに関するひと言がまとめられている。例え話や会話形式のものが多い



〈秋田支店〉
原子力関係だけでなく，エネルギー全般にわたる事柄やキーワードの解説もあり，内容豊富

平成７年度 電力需給実績

対前年比102.8%の堅調な伸び

大口電力は２年連続で前年実績を上回る

需要実績

平成七年度の販売電力量は、民生用需要については、記録的な猛暑であった前年と比べて冷房設備の稼働が減少したものの、契約口数や契約電力の安定した伸びや気温の低い日が続いたことによる暖房設備の稼働増などから、対前年比一〇三・一%の堅調な実績となりました。

また、産業用需要についても、一部の業種で生産調整や生産縮小の動きがみられたものの、半導体関連業種が生産増を続けたことに加え、年度後半から景気が緩やかながら回復傾向で推移したことなどから、対前年比一〇二・五%の実績となりました。

この結果、電灯電力合計では六三八億kWh、対前年比一〇二・八%の実績となり、第一次オイルショック以降では最も高い伸びとなった前年実績をさらに上回りました。

用途別の電力需要実績については、次のとおりです。

電灯

電灯は、契約口数が安定して伸びたことに加え、エアコンなど家電機器の普及増や暖房機器の稼働増などから、販売電力量は一九二億三、七〇〇万kWhとなり、対前年比一〇四・一%の実績

業務用電力

業務用電力は、レジャー、卸売・小売関連業種を中心に契約電力が安定して伸びたことに加え、電灯と同様、気温の影響により暖房設備が稼働増になったことなどから、販売電力量は一一三億一、八〇〇万kWhとなり、対前年比一〇四・八%の実績となりました。

小口電力

低圧電力は、非製造業において契約電力の伸びが見られたことや、電灯と同様に気温の影響による暖房設備の稼働増はあったものの、前年の猛暑の反動減などから、対前年比九七・二%と前年を下回る実績となりました。

また、高圧電力Aは、中小企業の景気回復の遅れを反映し、製造業全般において稼働率に伸び悩みが見られたことなどから、対前年比一〇一・六%と低位な伸びとなりました。

このため、小口電力合計の販売電力量は一〇七億四、三〇〇万kWhとなり、対前年比一〇〇・二%とほぼ前年並みの実績となりました。

大口電力

大口電力は、紙・パルプにおける自家発増設や化学で前年の渇水の反動による当社からの買電減などがあったものの、好調な半導体需要により電気機械や非鉄の電子材料関連が生産増を続けたことに加え、年度後半からの緩やかな景気回復を受けて、大口電力の伸びが昨年十二月以降四カ月連続でプラスとなったことなどから、大口電力合計の販売電力量は二〇六億九、四〇〇万kWhとなり、対前年比一〇三・一%と前年を上回る実績となりました。

供給実績

平成七年度の発受電電力量合計は、七〇四億一、七〇〇万kWhとなり、計画比で一〇一・九%、対前年比では一〇三・〇%の実績となりました。

自社水力

降水量が平年より多かったことから、出水率一〇五・五%の豊水となりました。

この結果、発電量は、計画を二億五、〇〇〇万kWh上回る九五億一、七〇〇万kWhとなりました。

自社火力

需要は計画を上回ったものの、豊水により水力の発電量が増加したことなどから、発電量は、計画を四億一、一〇〇万kWh下回る三六八億八、〇〇〇万kWhとなりました。

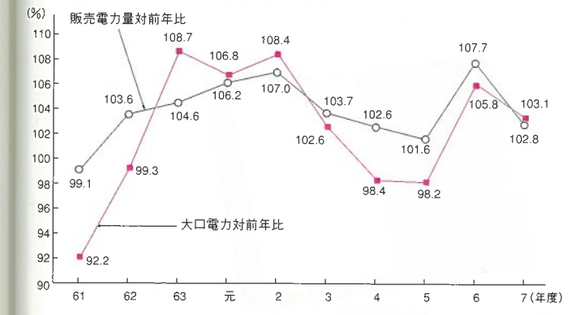
自社原子力

女川原子力発電所2号機の試運転電力量の減および計画外停止などにより、発電量は、計画を一億五〇〇万kWh下回る八四億五、九〇〇万kWhとなりました。

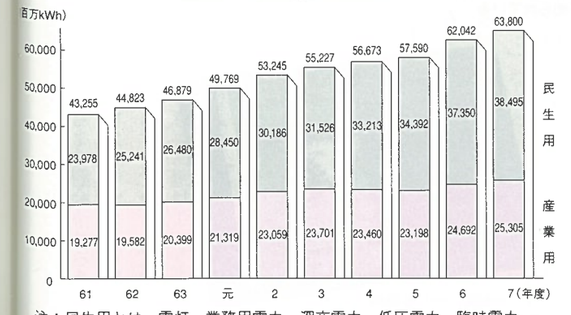
他社受電

水力、火力、原子力とも受電量が計画を上回ったことから、他社受電合計では、計画を八億四、〇〇〇万kWh上回る一八九億一、七〇〇万kWhとなりました。

■販売電力量対前年比



■販売電力量の推移



注：民生用とは、電灯、業務用電力、深夜電力、低圧電力、臨時電力、農事用電力、融雪用電力、大口電力の公益関係を指します。

■平成７年度の電力需要実績

(単位：百万kWh，%)

区分		7年度実績 (A)	6年度実績 (B)	前年比 (A)/(B)	7年度計画 (C)	計画比 (A)/(C)
電灯		19,237	18,474	104.1	18,871	101.9
電力	業務用	11,318	10,803	104.8	11,049	102.4
	小口	10,743	10,720	100.2	10,748	100.0
	大口	20,694	20,069	103.1	20,017	103.4
	その他	1,808	1,976	91.5	1,810	99.9
	計	44,563	43,568	102.3	43,624	102.2
電灯・電力合計		63,800	62,042	102.8	62,495	102.1

［大口電力の業種別対前年比］

紙・パルプ	80.0	化学	96.5	セメント	104.8
鉄鋼	103.1	非鉄	108.8	機械	106.6
食料品	103.9				

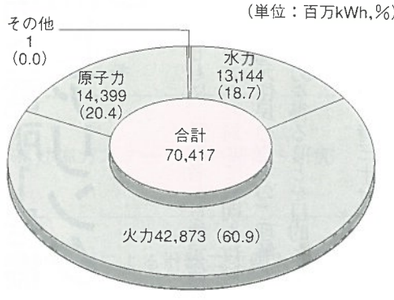
■平成７年度の供給力概要

(単位：百万kWh，%)

区分			7年度実績 (A)	6年度実績 (B)	前年比 (A)/(B)	7年度計画 (C)	計画差 (A)−(C)	計画比 (A)/(C)
自社	水力	自流式	8,706	7,479	116.4	8,569	137	101.6
		貯・揚水式	811	577	140.5	698	113	116.1
		計	9,517	8,056	118.1	9,267	250	102.7
	火力		36,880	39,011	94.5	37,291	−411	98.9
	原子力		8,459	4,138	204.4	8,564	−105	98.8
	合計		54,856	51,205	107.1	55,122	−266	99.5
他社受電			18,917	17,721	106.7	18,077	840	104.6
融通			−2,958	−308	959.3	−3,850	892	76.8
揚水用			−398	−219	181.5	−262	−136	151.7
発受電合計			70,417	68,399	103.0	69,087	1,330	101.9
総合損失率			9.4	9.3	—	9.5	−0.1	—
出水率			105.5	86.7	—	100.0	5.5	—

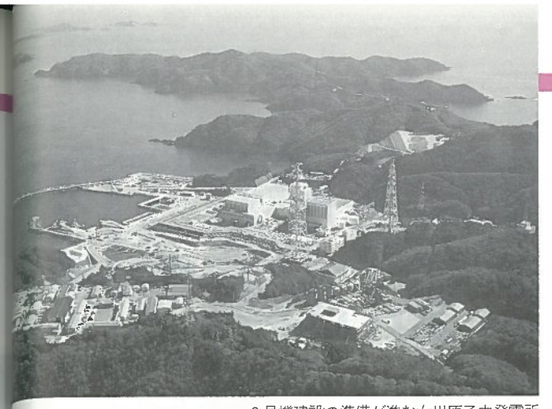
■平成7年度エネルギー別発受電電力量

(単位：百万kWh,%)



女川原子力発電所
3号機に原子炉設置変更許可
今年7月着工、平成14年1月の運転開始を目指す

四月十二日、当社は女川原子力発電所3号機（沸騰水型軽水炉、出力八二万五、〇〇〇kW）の増設について、通商産業大臣から原子炉設置変更許可を得た。これにより同3号機の原子炉本体の基本設計にかかわる国の安全審査を終了した。


3号機建設の準備が進む女川原子力発電所

この設置変更許可に際し、八島社長は「これまでの宮城県ならびに国ご当局のご指導をはじめ、地元の皆さま方から賜わったご理解、ご協力に深く感謝申し上げる。

女川3号機は二十一世紀の電力供給の要となる重要な電源であり、地域の開発、振興を支えるエネルギー源として大きな役割を担うものである。

3号機の建設にあたっては安全を最優先に進め、地域からより一層愛され、信頼される発電所となるよう全力を傾注していく」とのコメントを発表した。

また、四月十五日、通商産業大臣に対し、プラントの詳細設計にかかわる工事計画認可申請（第一回）を行い、今年七月の着工、平成十四年一月の運転開始を目指して、諸手続きを進めていく。

同3号機は、基本的に同2号機と同じ設計だが、新たに海水熱交換器建屋を設置して、海水熱交換器を集中配置するほか、原子炉建屋内に復水貯蔵槽を設置し、配管の短縮等を図ることが特徴である。なお、同3号機は当社三基目、全国では五十三基目の商業用原子力発電設備となる。

女川原子力発電所3号機増設・これまでの主な経緯

平成5年11月25日	第一次公開ヒアリング開催（通商産業省主催）
平成6年3月17日	第126回電源開発調整審議会上程
平成6年5月24日	原子炉設置変更許可申請
平成7年4月28日	原子力委員会，原子力安全委員会に諮問
平成7年8月24日	第二次公開ヒアリング開催（原子力安全委員会主催）
平成8年3月25日	原子力安全委員会答申
平成8年3月26日	原子力委員会答申
平成8年4月12日	原子炉設置変更許可
平成8年4月15日	電気工作物変更届出
平成8年4月15日	工事計画認可申請（第1回）

当社東通原子力発電所1号機 第一次公開ヒアリング開催される

四月十七日、東通村体育館（青森県東通村）で当社東通原子力発電所1号機（沸騰水型軽水炉、出力一一〇万kW）の建設に係わる第一次公開ヒアリングが開催された。

第一次公開ヒアリングは、通商産業省が主催するもので、安全性や地域振興策など原子力発電所設置に関して、地元住民の方々から意見を聞くとともに、設置者から地元住民の方々に対して説明を行い、地元住民の方々のご理解とご協力を得ることを目的としている。



当社東通原子力発電所1号機の第一次公開ヒアリングのもよう

午前八時三十分、公開ヒアリングは予定通り開始され、地元の東通村、周辺のむつ市、横浜町、六ヶ所村の住民から選ばれた二十四名の意見陳述人の方々が、放射線の影響や地震対策、地域振興策などについて意見を述べた。これに対し佐藤副社長をはじめとする当社関係者が説明団として説明を行い、午後六時、公開ヒアリングは全日程を終了し、閉会した。

同1号機は、今後、今年七月の電源開発調整審議会上程、平成十一年二月着工、平成十七年七月の運転開始を予定している。また、同地点では、当社1号機のほか、同2号機、東京電力1号機、2号機の建設が計画されている。

カナダと東北の一層の交流拡大に向けて
明間会長 エグルトン国際貿易大臣と懇談


エグルトン大臣（右から2番目）と会談する明間会長

四月二十一日、カナダ名誉通商代表を務める明間会長は、この度来仙したカナダのエグルトン国際貿易大臣と、懇談、意見交換を行った。

懇談会には、カナダ側からエグルトン大臣のほかキャンベル駐日カナダ大使らが、日本側からは明間会長をはじめとする在仙の経済人の方々が出席。国際的な経済問題が話題に上った。

また、懇談会に先立ち大臣と会談した明間会長は当社とカナダとのゆかりにふれ「当社が初めてウランを購入したのがカナダであり、最近では石炭も購入するなどエネルギーを通じた両者の関係が強まっている。また、社長時代に締結したオンタリオハイドロ社との交流も五年にわたり、カナダには特に親しみを感じている」と述べた。これに対しエグルトン大臣は、明間会長に謝意を表すとともに、「カナダは日本を重要な貿易のパートナーとみている。今後はエネルギー以外の分野での交流も拡大していきたい」と抱負を語った。

エグルトン大臣は、カナダ、米国、EU、日本の四極通商会議で来日した機会をとらえ、仙台を訪れたもの。

当社全体の新たな改革へ
平成7年度社長賞大賞 2件7名の方々へ

四月二十六日、本店で平成七年度社長賞大賞の授与式が行われた。今回の社長賞大賞は、平成七年度の社長表彰および業務改善提案社長賞計十件の中から、特に優れたものとして「高効率ガスタービンの開発・研究」と「無線電送による計器二次側入切装置の開発」の二件に授与され、七名に八島社長から賞状とブロンズ像が手渡された。



あいさつに立った八島社長は、「当社は新しい経営環境の下で、徹底したコストダウンに向け、技術開発や業務効率化を従来以上に進めていかなければならない。皆さんには、引き続き、新しい課題に挑戦していくことをお願いするとともに、本日の受賞が皆さんと同じように技術開発や業務改善に取り組んでいる社員の皆さんの励みとなることを期待する」とお祝いの言葉を述べた。

＜平成7年度　社長賞大賞受賞者＞

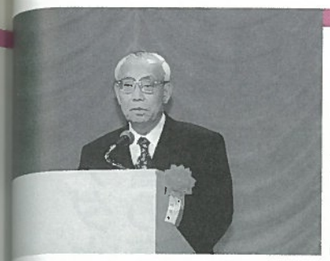
件名	受賞者 所属	氏名
高効率ガスタービンの開発・研究	火力部　副調査役 火力部　専門指導職 火力部 研究開発センター主幹研究員 東新潟火力発電所　技術課	小林雄一之 松崎裕由明 西下村慶 安藤郁生
無線伝送による計器二次側入切装置の開発	仙台営業所　配電計画課 配電部　副長 （前　仙台営業所　配電計画課長）	桜井安昭 三浦直人

「新潟・仙台天然ガスパイプライン」竣工

新潟産出の天然ガスを仙台へ
新仙台火力2号機で利用

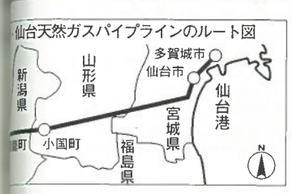
石油資源開発株式会社が建設を進めてきた「新潟・仙台天然ガスパイプライン」の竣工披露が、四月二十三日、仙台市内のホテルで行われた。

式では、明間会長が「この天然ガスパイプラインは、昭和四十年代初頭に東北開発審議会および東北経済連合会が、天然ガスの広域的利用の促進を提唱して以来、四半世紀以上の悲願の実現である。この完成は、新潟と仙台をつなぐエネルギー動脈の構築というだけではなく、地域社会のゆとりと豊かさの実現につながる『東北発展の未来への懸け橋』として、国土の均衡ある発展にも大きく寄与するものである。この貴重な社会資本が、今後、一層の地域繁栄につながる実りあるものに成長することを期待する」と祝辞を述べたほか、八島社長らによる鏡開きが行われた。



竣工披露で祝辞を述べる明間会長（上）と鏡開きに臨む八島社長





このパイプラインは、新潟から仙台新港までの約二百五十kmを結ぶもので、新潟で採掘された天然ガスを一日当たり最大五百万立方メートル送ることができる。

当社は、平成六年五月に策定した「ソシオエナジー21（21世紀を拓く経営発展新構想）」の中で、『総合エネルギー産業』を当社の将来像として掲げており、わが国の安定的な発展のためにエネルギー全体の総合効率の向上が不可欠であることや、お客さまがエネルギーの選択指向を強めていくであろうことを踏まえ、『当社の新たな成長の機会を確保するという展望のもと、当社は電力以外のエネルギーを供給していく。具体的には、まず、東北地域の天然ガス供給を事業寄与する天然ガス供給を事業分野とする』こととしている。

このため、当社は平成五年七月に石油資源開発株式会社と共同で東北天然ガス企画株式会社を設立し、天然ガスの需要拡大に向けた取り組みを進めているほか、このパイプラインを通じて送られる天然ガスを新仙台火力発電所2号機で利用することとしている。

なお、新仙台火力発電所2号機は発電用ボイラーの改造工事を終え、現在、試験運転を行っている。本格運転の開始は五月下旬の予定。

平成8年度電力卸供給
入札説明会を開催

四月二十五日、平成八年度募集分の電力卸供給の入札説明会が、本店新館五階ホールで開催された。

説明会には、卸電力市場への参入を希望する鉄鋼、化学、石油、商社などの業界から六十二社、百二十名の方々が出席した。

説明に先立ち、青木常務があいさつを述べ、続いて、営業部の涌沢副部長が入札実施の要領について説明した。

今回、募集するのは、ピーク対応電源一五万kW（標準利用率三〇%、平成十二年七月供給開始）と、佐渡供給対応電源五千kW（標準利用率五〇%、平成十一年六月供給開始）の火力電源。募集期間は四月二十六日から八月九日十二時までで、募集締切後、三カ月程度を目途に、安価なものから順位付けを行い、募集量を満たす範囲で評価が上位となった入札者から契約交渉を開始し、契約内容に合意が得られた時点で、落札を確定することとしている。



説明会の冒頭，あいさつを述べる青木常務

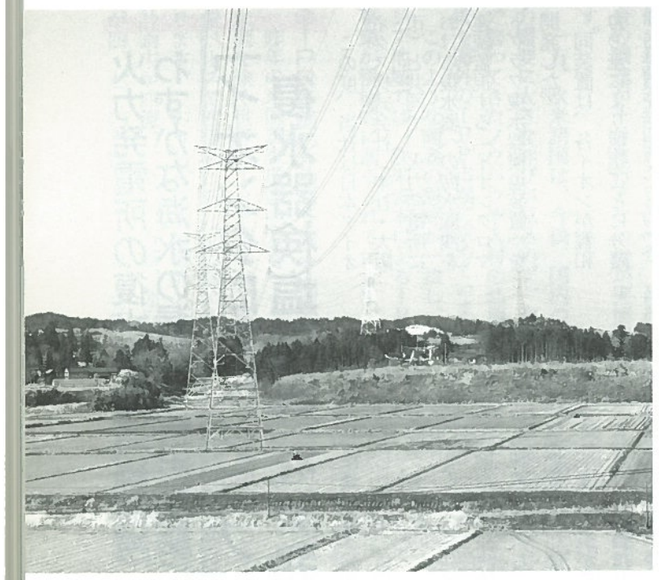
電力のより一層の安定供給に向けて

原町火力線が運用開始

新技術の導入で約20億円の建設費を低減

四月三日、原町火力線（二七万五、〇〇〇V、二回線、全こう長十八・一km）が東北通商産業局の使用前検査に合格し、運用を開始した。

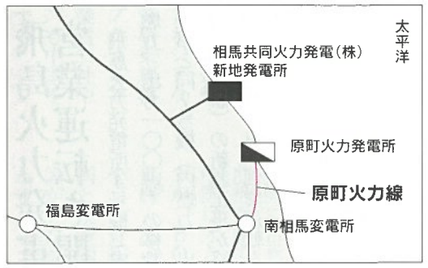
原町火力線は、現在建設中の原町火力発電所（燃料・石炭、出力は1号機・2号機ともに一〇〇万kW）と南相馬変電所を連系する送電線。建設にあたっては、当社で開発した大容量ヒレ付低ロス電線を採用したほか、鉄塔組立でクライミングクレーン工法、架線工事でプレハブ架線工法やパイプ式プレハブジャンパー工法など、新技術・新工法を導入しており、高所作業での安全性の確保と工事の省力化、建設費の低減を図っている。



運用を開始した原町火力線

また、環境対策としては、景観に配慮するため、海浜公園の付近でパイプ型鉄塔や電線の低光沢化、着色がいし（茶色）などを採用したほか、民家などの近くでは、風騒音防止のためにスパイラルロッドの巻き付け等を行っている。

さらに、架空地線二条のうち一条はOPGW（光ファイバー複合架空地線）を架設。高度情報化に対応するとともに、保守の合理化・省力化を図っている。



地域色豊かな
環境教育ソフトを開発

マルチメディアを利用
秋田・岩手・仙台の3地域で

当社は、この度秋田、岩手、仙台の三地域で、地域の教育関係者の方々や地元ソフト制作会社の協力の下、小・中学生を対象とする、マルチメディアを利用した環境教育ソフトを新たに開発した。

今回の三本の新ソフトは、平成七年度に策定した「東北電力地球環境行動計画第II期」の施策の一つとして開発したものであり、それぞれの地域特性を踏まえた素材をテーマとし、地域色豊かな、東北ならではの環境教育ソフトとなっている。

秋田支店で開発した「北緯40度—AKITA発　男鹿の海編」は、ハタハタを糸口とし、海の環境について考えてもらう内容。岩手支店で開発した「ハル君の部屋」は、子どもたちの身の回りのものをテーマに、実際に外に出て活動しようとする動機付けを行うものとしている。また、仙台の「みちしるべ」は、子どもたちが自分で調べたことを記録することや、ほかのソフトの画像などを貼り付けることが可能で、子どもたちの学習意欲の向上と学習機会の広がりを期待できるソフトとしている。



「北緯40度—AKITA発　男鹿の海編」の一部

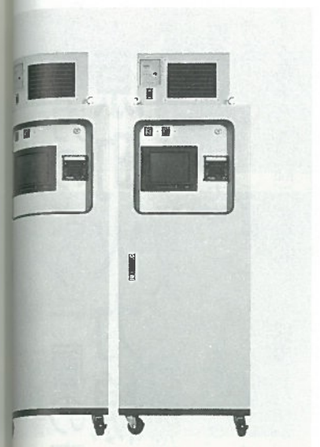
当社は、今後、これら三地域で、実際の授業で活用していただきながら、ソフトの改良・開発を継続していくほか、インターネットの活用やソフトの提供などを通じて、より広範なネットワークづくりを図っていくこととしている。

火力発電所の復水器を連続監視
わずかな海水の漏れも検出可能に
「イオンクロマトグラフ復水器検塩装置」を開発

この度、当社は日本ダイオネクス株式会社（本社・大阪市）と共同で、火力発電所における復水器への海水漏洩を連続監視する「イオンクロマトグラフ復水器検塩装置」を開発した。

同装置は、各イオンが親和力の差により種類ごとに分離する性質を活用したもので、復水中に溶けている炭酸やボイラーの水処理剤として用いられるアンモニアなどの影響を受けずに、海水中の塩化物を選んで厳密に測定できる。これにより、これまで困難とされていた微量の海水漏洩を検出可能としたほか、負荷変化時やプラント起動時に、海水の漏洩がなくとも水処理剤の影響から検査値が漏洩値を示すなどの課題を解決し、常に精度の高い測定が可能となった。また、連続監視ができるようになり、一回当たりの測定時間も従来の三十分を五分にまで短縮した。

当社は、今後、新設設備や既設設備の更新時期に合わせて同装置の導入を図ることとしている。

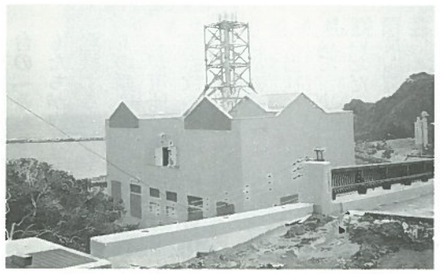

今回、開発された「イオンクロマトグラフ復水器検塩装置」

飛島火力発電所4号機、7号機
営業運転を開始

飛島火力発電所4号機（内燃力、出力一〇〇㎾）の移設工事と同7号機（内燃力、出力二〇〇㎾）の新設工事が終了し、四月十日、営業運転を開始した。

同発電所は、現在、3～6号機（合計出力五三〇㎾）が運転中だが、島内の電力需要の増加および既設発電所の老朽化に対応し、より一層の安定した電力供給を図るため、既設発電所の重油タンク用地を含む隣接地に発電所本館を新設し、既設の4～6号機を順次移設するとともに、新たに7号機を増設する工事を進めていた。今後は、今年六月に5号機（出力一五〇㎾）と6号機（出力二〇〇㎾）の移設を終了し、営業運転を開始する予定である。

なお、1、2号機は昭和四十九年に廃止しており、また、老朽化が進んでいる3号機（出力八〇㎾）も6号機の営業運転開始に伴い、廃止することとしている。


新設された飛島火力発電所の本館

スリー
3ピストンスターリング機器
第55回注目発明賞に選ばれる

当社と東京工業大学が共同で開発した「3ピストンスターリング機器」が、科学技術庁が選定する「注目発明賞」に選ばれた。


研究開発センターの大友充弘さん

四月十九日、宮城県庁で伝達式が行われ、松本宮城県商工労働部長から、この研究開発を行った大友充弘さん（研究センター）に注目発明選定証が手渡された。

「注目発明」は、国内における発明の中から高度な技術内容を有する研究を選定・公表し、技術開発意欲と科学技術水準の向上に役立てようとするもの。科学技術庁が毎年一回選定している。

同機器は、未利用エネルギーの有効利用を目的として、当社が開発を進めている冷暖房システムに用いられる機器。作動ガスにヘリウムを使いフロンを使用しないため、環境保全に有効であることや、太陽熱、高温排ガス、排熱などの未利用エネルギーを熱源として利用でき、冷房、暖房、給湯を同時に行えることなど

LOOK World
Vol. 26

世界のIPPの8割がアジアに
～欧米諸国が積極的に投資、しかしリスクも伴う～

アジア諸国は、急激な経済成長により、電力需要の伸びが年一〇％程度と高くなっています。このため、発電設備の増強が急がれていますが、建設資金の調達が十分に行えないのが実情です。

一方、欧米諸国は、今後、国内の電力需要に大きな伸びが見込めず、今まで培ってきたノウハウや人材の活用の場を海外のIPP市場に求めています。

このような両者の思惑が一致し、アジア地域では、欧米資本によるIPP事業が積極的に進められています。

●IPP計画の8割はアジア地域

昨年の米国調査機関の発表によると、米国を除く世界のIPP市場は発電容量ベースで四億八、四〇〇万㎾にのぼります。このうち、新規の開発および計画中が四億二、九〇〇万㎾、運転中が四、七一〇万㎾です。また、全体の約八割がアジア地域によって占められています。IPPプロジェクトは現地国政府の入札によるものが多く、日本からも商社や重電メーカーが外国企業と合弁で入札に参加しています。

アジア地域でのIPP事業は、投資者が発電所を建設、運転、保守を一貫して行い、発電した電力を現地国に売電して資金を回収した後、設備を現地国に譲渡する、BOT（Build-Operate-Transfer）と呼ばれる方式が主流です。

●欧米の電気事業者はアジア地域でIPPを積極的に展開

米国は、IPP事業に最も積極的で参入企業の約半分を占めています。電気事業の持株会社も、国際事業を主体とした会社を設立し積極的に活動しています。当社と協力協定を締結しているジョージア電力の持株会社サザンカンパニーも、サザン・エレクトリック・インターナショナルを設立しています。現在、同社で運転中の国外IPPは中南米だけですが、今世紀末までの運転開始を目指し、中国やインドネシアなどに進出しており、海外投資事業規模は米国電気事業者ではトップクラスです。欧州でも英国の発電事業者二社やフランス電力公社（EDF）も中国をはじめ各国へ進出しています。

●リスクの多いアジア地域へのIPP投資

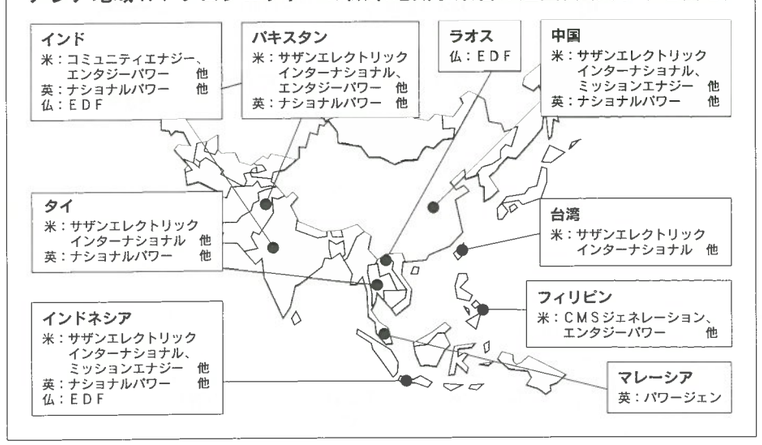
しかしながら、アジア地域では、政権交代や突然の政策変更、投資関係の法律の未整備など、IPPへの投資リスクは大きいのが実情です。リスクを回避するためには、投資相手国の社会性、民族性などを十分に見極めることが最も大切と指摘するコンサルタントもいます。

インド・マハラシュトラ州のダボール火力発電所建設計画は、同国中央政府の最重要プロジェクトにもかかわらず、昨年一月に政権交代した州政府が政策との不一致等を理由に建設計画の破棄を迫りました。その後、本年に入り、計画変更などを条件にようやく建設再開に合意するという紆余曲折を経ています。また、中国は大きなIPP市場ですが、BOT方式による外資導入の指針発表の延期や、投資報酬率をめぐる中国と投資国との意見の相違等がプロジェクト推進の足かせとなっています。

このような状況もあり、実際に運転開始にこぎつけるIPPの割合は二〇％弱です。しかし、電力需要が旺盛なため、一つのプロジェクトが挫折しても、それに代わる新規プロジェクトが次々発表されています。

［企画部（調査G）］

アジア地域IPPプロジェクトへの欧米電気事業者の進出例（交渉中を含む）



知っておきたい 原子力のはなし

「なぜ，原子力発電なのか」その2

～エネルギー事情から日本をみる～

四月号では、世界的に増大するエネルギー需要についてお話ししました。情報化社会の進展、発展途上国での人口増加や経済発展…。「みんな必要なんだから、使いたいだけ使えばいいじゃないか」なんて無責任なことばかりは、いっていられないようです。事態は、シンコクなのです。

そこで今回は、わが国が抱えるエネルギー問題を見ていきましょう。

いつかはなくなってしまうもの ～有限な化石エネルギー

私たちが利用している石油、石炭、天然ガスなどの化石エネルギーは、四十六億年といわれる地球の長い営みの中から生み出されたものがほとんどです。石油、石炭、天然ガスなどは、太古の動物や植物が地中に埋もれ、地球の中で資源として残されたものです。

このような化石エネルギーは、愛とは違って（？）有限です。つまり、使い続ければ、いつかはなくなってしまうのです。石油、石炭、天然ガスを比べると、現時点で確認されている埋蔵量は石炭が最も多く、一兆三百九十二億トンで、二百十九年は採掘可能だとされています。続いて天然ガス、石油、ウランの順で、可採年数はいずれも数十年とされています。

持たざる国、ニッポン ～脆弱なエネルギー供給構造

太古の動植物が残してくれた地球の恩恵、「化石エネルギー」は地球人全体の貴重な財産ということができますが、残念ながら、これらの資源は地球上に均等に分布しているわけではありません。その結果、持てる国、持たざる国ができてしまいます。そして、わが国は、残念ながら「持たざる国」だといわなければなりません。

わが国は、二度にわたる石油危機の経験から、省エネルギーや石油に代わるエネルギーの開発に努めてきました。しかしながら、現在でも全エネルギーの約八割を外国から輸入しています。

石油にいたっては、その九九・七％を輸入に頼っているのが現状です。

ところで、わが国はこれだけ大量のエネルギーをどこから輸入しているのでしょうか。例えば、石油の場合、その輸入先は年々多様化していますが、アラブ首長国連邦やサウジアラビアなどの中東地域が圧倒的に多く、約七七％を占めています。石油危機や湾岸戦争が起きるなど、政情が不安定な中東の石油に大きく依存するわが国のエネルギー供給構造は、極めて脆弱だといえるわけです。

ちなみに、主要先進国の中では、わが国と同じように自国にほとんど資源を持たない、イタリア、フランス、ドイツなどの輸入依存度が高い一方で、自国で石油を生産し、さらに豊富な水力資源を持つカナダは、トータルでみると輸出が輸入を上回っています。また、イギリスは、一九七五年ごろまでは石油を輸入するなど、全エネルギーの四〇％以上を輸入していましたが、北海油田の開発により、現在はエネルギー輸出国になっています。

どうやら、私たちは、エネルギーを使いたいだけ使える状況にはないようです。

さて次回は、これらの問題を踏まえながら、いよいよ原子力発電の有効性を考えます。

世界のエネルギー資源の確認可採埋蔵量

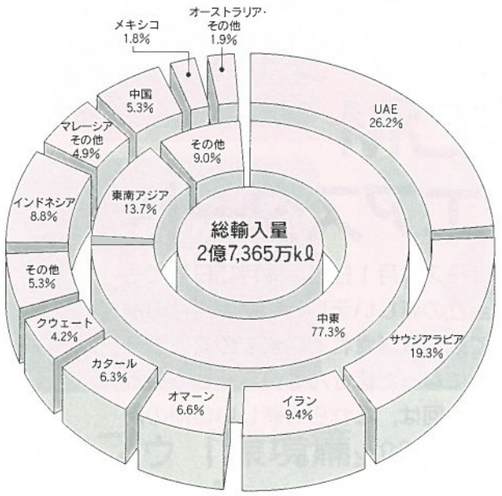
石油	9,991億バーレル	46年
石炭	1兆392億トン	219年
天然ガス	142兆m³	65年
ウラン	208万トン（注）	43年

（注）1. 旧ソ連、東欧、中国等のウラン資源埋蔵量については不詳であるため含んでいない。
2. 使用済み燃料の再処理により取り出したプルトニウムなどを再び燃料として使用すれば、ウラン資源の利用効率は数倍から数十倍になる。

資　料：Oil & Gas Journal、世界エネルギー会議、OECD/NEA、JAEA等より

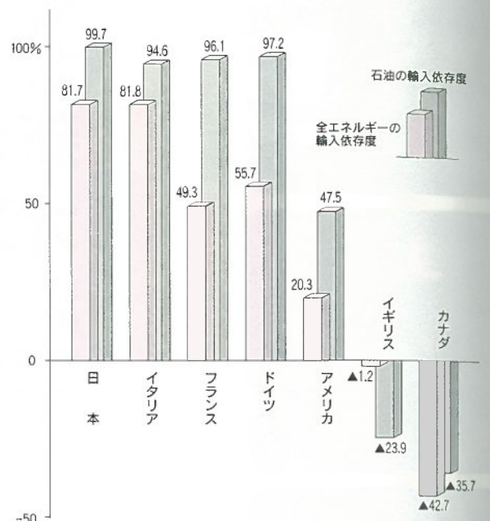
確認可採埋蔵量：既に発見され、現在の技術で経済的に生産しうる埋蔵量。新しい追加埋蔵量が確認されれば変動する。

わが国の石油の地域別輸入比率（平成６年度）



出典：「エネルギー統計年報」（通産省）

主要国のエネルギー輸入依存度（1993年）



出典：OECD「Energy Balances（1992-1993）」

「超・基本的な原子力の疑問」

四月号で「原子力に関する疑問」を募集しましたが、早速、質問をいただきました。

Q 日本には、「BWR」と「PWR」という二つの型の原子炉があるそうですが、どこがちがうのですか。

A 減速材や冷却材に軽水を使う原子炉を「軽水炉」と呼びますが（「重水炉」は重水を使う）、これには「沸騰水型軽水炉（BWR）」と「加圧水型軽水炉（PWR）」の二種類があります。同じ軽水炉なのに、なぜ種類が二つあるのかというと、それぞれに開発された背景が異なるためで、それぞれに特徴があります。

BWRは、アメリカのゼネラル・エレクトリック社が発電用として開発したものです。原子炉圧力容器の中で、水を沸騰させて蒸気を作り、その蒸気で直接タービンを回します。

一方、PWRは、アメリカのウェスチングハウス社が開発したもので、潜水艦や他の動力用に開発した炉をそのまま発電用に大型化したものです。「圧力を加えると沸点が高くなる」という水の性質を利用して、原子炉圧力容器の中で水に圧力を加えることにより、なるべく高い温度の熱水を作ります。それを蒸気発生器に送り込み、そこで熱水の熱を別の系統から入ってくる水に伝えて蒸気を作ります。

このコーナーでは、引き続き「原子力に関する疑問」を募集します。巻末のアンケート用紙、電話、ファックス、電子メール…なんでも結構ですので、社誌担当者あてお寄せください。皆さんからのご質問をお待ちしています。



もっと身近に
もっと分かりやすく
新作CM
オンエアスタート

ビデオニュース４月１日号，４月15日号でも紹介した，当社の新しいテレビCM。当社の提供番組などで既に放送されていますので，もうテレビでご覧になった皆さんもいらっしゃると思いますが，今回は，これらの新しいCMの制作のねらいなどを紹介します。

企業CM
「街シリーズ」「母子（おやこ）シリーズ」
全６タイプ

今回の企業CMは，地域に根差した当社の事業活動を，お客さまにご理解いただくことがねらいです。

ポイントは一般のお客さまに制作の視点を置いたこと。暮らしの中で，普段，何気なく行われている当社の活動を，お客さまの目を通して描こうというものです。

「お客さまから見えにくい，意識されにくい，当社の日常活動」を分かりやすくお伝えし，お客さまに当社を身近に感じていただけることを期待しています。

「母子（おやこ）シリーズ」（地底人篇）







（夜の探検篇）



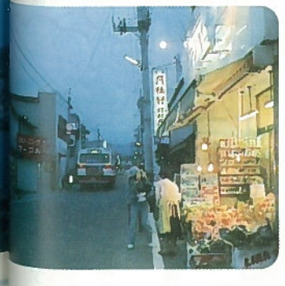




「街シリーズ」（川の街篇）

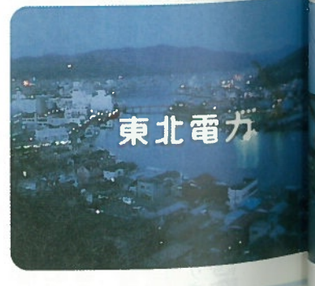


















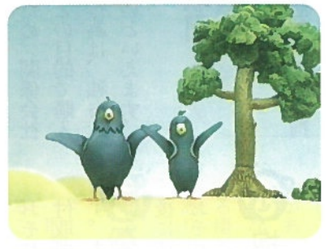


マカプゥ「環境篇」
全２タイプ

当社のイメージキャラクターである「マカプゥ」が登場するテレビCMも、今回で四作目。マカプゥも子どもたちや主婦層を中心に、すっかりおなじみとなった感があります。今回は、地球環境の保全に対する当社の企業メッセージを盛り込んだものとしており、マカプゥのひょうきんでかわいらしいイメージと相まって当社企業イメージの向上が期待されます。

マカプゥには、テレビだけでなく「東北電力ニュース」などの媒体や各種広報活動、地域交流活動などで、これからも活躍してもらいます。











『独禁法』って何だろう？

―独占禁止法入門講座その３―

今回は、前回に引き続き不公正な取引方法のいくつかについて解説します。本シリーズで得た知識を生かし、これまで行ってきた仕事についても、問題意識を忘れずに新たな視点で取り組んでください。

差別対価・差別取扱い

地域や相手方により、差別的な対価で商品やサービスを供給したり、供給を受けたりすることを差別対価（一般指定第三項）といい、ある事業者に対し、取引の条件または実施について有利な、または不利な取扱いをすることを差別取扱い（一般指定第四項）といいます。

前回、「取引先選択の自由」のことをお話ししましたが、取引先の選択だけでなく、価格などの取引条件をどのように決めるかも、それぞれの事業者が需給関係や取引数量などに応じて決めることですから、それぞれの取引ごとに取引条件に違いが出てくるのは、むしろ当然のこととともいえます。

したがって、価格などの取引条件に差異があることだけで直ちに独占禁止法違反になるわけではありませんが、例えば、有力な事業者が競争者を市場から排除するために、その競争者と競合する販売地域に限定して特に安い価格で販売する場合などのように、競争の反映ないし結果とは認められない価格差によって競争者の事業活動を困難にさせ、競争上著しく不利にさせるおそれがある場合などが、公正な競争秩序に影響を与える場合として違反になります。

当社のように購入市場において強い立場にある事業者は、差別的な取扱いを行うことによって市場に与える影響が大きいと考えられるため、関係会社の競争者を排除するなどの目的で購入価格を差別するなどの行為は、独占禁止法上問題になりやすいといえます。

拘束条件付取引・排他条件付取引

取引の相手方の事業活動を不当に拘束する条件をつけて取引する行為を拘束条件付取引（一般指定第一三項）といいます。例えば、取引の相手方の取引先や取引地域を制限する場合などがこれにあたります。

また、取引相手に対し、自己とのみ取引し自己の競争者との取引を禁止することを条件とすることも、拘束条件付取引の一種といえますが、これについては、排他条件付取引（一般指定第一一項）として指定されています。

これらの拘束行為によって、競争者の取引の機会を減少させたり、その市場への新規参入を阻害する場合には、公正な競争を阻害するおそれがあると認められ、違反となります。

当社が、請負工事を発注する際に、工事会社に対し、品質保持などの合理的な理由もないのに特定の会社の製品を使用するよう義務づけるなどの行為は、その結果、公正な競争を阻害するおそれを生じさせる場合には拘束条件付取引として違反になることがあります。また、相手方の意に反して、そのような条件を押し付けたりすることは、後に述べる優越的地位の濫用にあたるおそれもあります。

抱き合わせ販売等

ある商品を供給する際に、他の商品と一緒でなければ供給しないことにし、相手方が不必要な商品まで購入せざるを得ないように強制することを、抱き合わせ販売（一般指定第一〇項）といいます。

人気商品を販売する際に、在庫整理のため不人気商品とセットでなければ売らないことにする場合などがあります。人気ファミコンソフトの販売に際し、他のゲームソフトと抱き合わせて販売した行為が違反とされたのは、覚えておられる方も多いのではないでしょうか。

当社が取引先に対して電気温水器の購入協力をお願いする際に、協力しなければ今後発注を拒否することを匂わせて、相手方に購入を余儀なくさせるなどの行為（購買力を利用した不当な相互取引）も、同様に違反となることがあります。

なお、このような行為は、次に述べる優越的地位の濫用にあたるおそれもあります。

優越的地位の濫用

取引上の地位が相手方に優越していることを利用して、相手方に不当に不利益を与える行為は、優越的地位の濫用（一般指定第一四項）として違反となります。

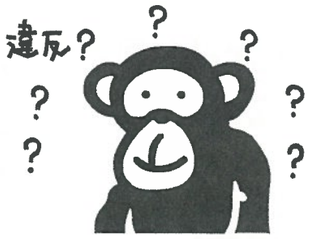
現実の取引では、取引当事者間の力関係に差があるのが通常であり、その結果、一方の当事者の取引条件が他方に比べて不利になったとしても、そのこと自体は独占禁止法上の問題にはなりません。

しかし、相手方に優越している地位を利用して、正常な商慣習に照らして



事業者が相手方の販売価格を拘束すること（安売りをしないよう拘束するなど）も，取引相手の事業活動を拘束する行為の一種ですが，これについては，再販売価格維持（一般指定第12項）として指定されています。再販売価格維持は，市場メカニズムを通じて自由に決定されるべき価格に直接介入して販売業者間の価格競争を消滅させる行為であることから，不公正な取引方法の中でも特に違法性が強いものとして，原則的に違法とされます。

広告のチラシなどに，「定価」でなく「メーカー希望小売価格」などと記載されているのは，消費者などへの参考として表示した価格であって，小売業者の販売価格を拘束するものではないことを示そうとする意味をもっています。ちなみに，現在，独占禁止法の適用除外として例外的に再販売価格維持契約が認められている著作物（書籍，雑誌，ＣＤなど）に関しても，適用除外の存続についての議論が盛んに行われています。



不当に不利益な条件を強要する場合には、公正な競争を阻害する行為として、違反となります。

優越的地位の濫用として違反とされた例としては、かつて、あるデパートが納入業者に対し、自社の関係する映画などの入場券や特定の商品などを購入させたとして違反とされた事件がありました。

当社でも、取引関係上強い立場にあることを利用して、無理な条件での取引を強要したり、当社の後援するイベントの入場券を押し付けたりなどすることは違反になりますので、十分に注意してください。

行政指導と独占禁止法

皆さんの日常の仕事の中でも、行政機関から指導、勧告、助言などさまざまな行政指導を受ける場合があると思いますが、「お上」のご意向とはいっても、ちょっと待ってください。

行政指導は、行政を円滑に推進するために有効な手段ではありますが、その内容が常に独占禁止法上問題がないという保証はありません。仮に違反行為があった場合、それが行政指導に従った結果であったとしても、正当化されることはありません。特に、行政指導は業界団体を通じて行われることも多く、その場合には、カルテルとなる危険性が高いことから、指導を鵜呑みにするのではなく、常に自分の頭でよく考え、判断することを忘れないでください。

独占禁止法違反による不利益

独占禁止法に違反する事実があると考えられるような場合、公正取引委員会は立入検査などの調査を行います。その結果、違反事実があると認められたときは、排除措置を採るよう勧告するか、または審判を開始し、最終的には審決によって違反行為の排除を命じます。

また、価格カルテルなどの場合には、カルテルを行った事業者に対し、カルテル実行期間の売上額に一定の率を乗じて算出した金額を課徴金として徴収します。

さらに、カルテルなどの違反行為のうち悪質・重大なものについては、公正取引委員会からの告発を受けて刑事裁判が行われ、この結果、有罪となれば、行為者だけでなく企業やその代表者までが懲役または罰金といった刑罰を受けることさえあります。

もちろん、こうした法的措置による不利益だけでなく、違反の疑いをかけられただけでも、企業の社会的信用やイメージが大きく傷つけられることになることは容易に想像がつきますネ。

独占禁止法に違反しないために

さて、独占禁止法に違反しないために、私たちが実際に仕事をしていくにあたっては、どのような心構えが必要なのでしょうか。

まず、独占禁止法という法律が何を禁じているのかを理解し、常に問題意識を持ちつつ仕事をしていくことが必要です。そして、疑問に思ったことは、早期に本店主管部や法務部門に相談してください。

ある行為が独占禁止法に違反するかどうかは、非常に微妙な判断が要求される場合も多く、具体的な状況を十分に理解した上で検討しなければなりません。したがって、相談にあたっては、一般的抽象的な聞き方ではなく、具体的な状況をよく整理しておくことが必要です。

なお、本年三月に「独占禁止法遵守マニュアル」を作成・配布していますので、そちらもご一読ください。

掲示板

平成８年度全社・全電力・電力親善大会の日程

	種　　目	開 催 地	日　　程
全社	バスケットボール	福島市	5 /18(土)～19(日)
	卓球	仙台市	5 /25(土)～26(日)
	サッカー	いわき市	6 / 1 (土)～ 2 (日)
	バレーボール	新潟市	7 /13(土)～14(日)
	ソフトテニス	青森市	8 /31(土)～ 9 / 1 (日)
	野球	名取市	9 /14(土)～15(日)
	ラグビー	秋田市	10/ 5 (土)～ 6 (日)
	バドミントン	岩手県雫石町	12/ 7 (土)～ 8 (日)
	文芸作品コンクール・芸術祭	未　定	未　定
	囲碁・将棋	秋田市	1 /25(土)～26(日)
全電力	野球	大阪府箕面市	5 /25(土)～26(日)
	ソフトテニス	愛知県日新町	7 /20(土)～21(日)
	バレーボール	仙台市	12/ 7 (土)～ 8 (日)
	卓球	福井市	3 / 8 (土)～ 9 (日)
電力親善	ラグビー	熊谷市	4 /28(水)～ 5 / 1 (日)
	バドミントン	神戸市	4 /20(土)～21(日)
	ジョイントコンサート	広島市	5 /25(土)～26(日)
	謡曲	高知市	8 月
	硬式テニス	名古屋市	10月
	サッカー	名古屋市	10月
	弓道	鹿児島	10/20(日)～27(日)
	バスケットボール	金沢市	12/14(土)～15(日)
	駅伝	大阪府	2 月
	剣道	大阪市	3 月

草柳文恵のお元気ですか

毎週月曜日～金曜日

青森放送	午前	10：05～10：10
岩手放送	午前	9：45～9：50
秋田放送	午前	9：20～9：25
東北放送	午前	9：55～10：00
山形放送	午前	11：45～11：50
ラジオ福島	午前	10：45～10：50
新潟放送	午前	10：40～10：45

EPO・風の散歩道

毎週土曜日

エフエム青森	午後	0：00～0：30
エフエム岩手	午後	0：00～0：30
エフエム秋田	午後	0：00～0：30
エフエム仙台	午後	0：00～0：30
エフエム山形	午後	0：00～0：30
エフエム福島	午後	0：30～1：00
エフエムラジオ新潟	午後	0：30～1：00

黒崎昭二のシャンソンをあなたに

毎週土曜日

エフエム秋田	午後	7：00～7：55

ネットワーク

毎週土曜日

青森放送	午後	5：30～6：00
テレビ岩手	午前	10：00～10：30
秋田放送	午前	10：00～10：30
ミヤギテレビ	午前	10：00～10：30
山形放送	午前	10：00～10：30
福島中央テレビ	午前	10：00～10：30
テレビ新潟	午前	10：00～10：30

ワンデイ探検隊

5月10日	チョコレートを作ろう！
5月17日	蟻の行進
5月24日	未定
5月31日	挑戦！フライフィッシング～投げ方編～
6月7日	挑戦！フライフィッシング～水生昆虫と疑似餌～

毎週金曜日

青森朝日放送	午後	5：15～5：30
岩手めんこいテレビ	午後	5：15～5：30
秋田朝日放送	午後	5：15～5：30
東日本放送	午後	6：45～7：00
山形テレビ	午後	4：15～4：30
福島放送	午後	5：15～5：30
新潟テレビ21	午後	4：10～4：25

当社が提供するテレビ・ラジオ番組

今*きらめいて

5月12日	大海原にかける 気仙沼市 名村　孝さん
5月19日	ふるさとは桜色(仮題) 長井市 加藤孝一さん
5月26日	愛詩小屋に集う(仮題) 宮城県富谷町 千葉潤子さん
6月2日	未　定
6月9日	未　定

毎週日曜日

青森テレビ	午前	11：00～11：30
岩手放送	午前	10：00～10：30
秋田テレビ	午前	10：00～10：30
仙台放送	午前	10：00～10：30
山形放送	午前	11：00～11：30
福島テレビ	午前	10：00～10：30
新潟放送	午前	10：00～10：30

主要工事進ちょく率

（平成８年３月末）

種別	工事名	概要	着工年月	進ちょく率 0 25 50 75 (%)100	営業運転開始年月
水力	月山	0.88万kW	平成４年７月	29.5	平成12年５月
火力	原町１号	100万kW	平成５年２月	83.4	平成９年７月
	原町２号	100万kW	平成６年２月	9.8	平成10年７月
	飛島４～７号	0.065万kW	平成６年５月	93.9	平成８年４月
	粟島６号	0.025万kW	平成７年４月	96.9	平成８年６月
送電	原町火力線	275kV 18.1km	平成６年５月	99.9	平成８年４月
	五戸幹線	275kV 19.3km	平成７年５月	58.6	平成９年６月
変電	新地変電所（新設）	500/154kV 30万kVA	平成５年１月	15.0	平成10年６月
	五戸変電所（新設）	275/154kV 30万kVA	平成８年２月	25.0	平成９年６月

退職される方々

長い間ありがとうございました

①入社年月日 [redacted] ④退職後の過ごし方

（敬称略）



考査担当

佐藤　　蒈

❶昭和三十六年四月一日 [redacted]

❸入社して最初の赴任地は豪雪地帯の新庄市だった。吹雪の中でのサービス訪問などが忘れ難い。

❹感謝の念を持って、余生を過ごしたい。外国の知人と海外文通など交流を続けて、日常生活に国際性を加味したい。



総務部

柴田　末治

❶平成元年五月十四日 [redacted]

❸在職七年でしたが、多くの人々との温かいふれあいとご指導で、前職と違う貴重な会社生活を体験できました。

❹時代に遅れないよう「新しい発見」を楽しみながら、毎日一日一日を大事にして生きていくつもりです。



秋田支店
立地用地部

鈴木　滝子

❶昭和三十年三月二日 [redacted]

❸経理課の皆さんの協力を得て、二度にわたる少額備品償却業務をパーフェクトにやり遂げたこと。

❹自分の体を大事に、家族と友だちを大切にして、趣味はほどほどに楽しみ、私のできるボランティアをみつけてみます。



山形支店付
株式会社ユアテック
出向

山口　圭三

❶昭和三十年四月一日 [redacted]

❸それぞれの転勤先で温かく迎えられ、多くの方々と出会い、苦楽を共にしたすべてが懐かしく思い出されます。

❹健康に留意し、これまでできなかった家族旅行をしたり、地域の方々とのふれあいを深めたりして、楽しい人生を歩みたい。



原町技術センター
業務管理課

緑川　良一

❶昭和三十六年四月一日 [redacted]

❸各職場で良き上司、先輩、同僚に恵まれたこと。台風による水力発電所の出水対応に苦労したことが今は懐かしく思い出される。

❹健康に留意し、気持ちを新たに地域の方々とのふれあいを大切にし、少ない趣味を生かし楽しみ、悔いのない人生を過ごしたい。



新潟支店
立地用地部

藤村　政男

❶昭和四十一年十月十一日 [redacted]

❸用地買収した場所にそびえ立つ鉄塔の姿を見る度に、当時のことが懐かしく思い出され、一生の思い出です。

❹引き続き働く予定です。初心に戻って業務に取り組み、焦らず、趣味を楽しみ、健康に留意して過ごしたいと思います。

●今月号で特に興味を持った記事について，ご感想をお聞かせください。

コーナー名（　　）

●社誌「Bridge」に対して，ご意見・ご感想など何でも自由にお書きください。

読者の声

TOP-COS地域交流部について

当社初の「青年海外協力部員」となった方が、「モロッコ」へ派遣され、二年間過ごしてきたということ、すごいですね。これからの人生に何よりの貴重な体験となったことと思います。

若い皆さん、かけがえのない「時」を無為に過ごすのも、挑戦し続けるのもあなた次第ですよ。積極果敢な挑戦をしっかり応援してくれる「ボランティア休職制度」を利用しない手はないと思います（あ～、二十年後に生まれていたら…）。

（青森・女・46歳）

グラビアについて

去年もそうでしたが、入社式のグラビアは、なぜ白黒なのですか。

新入社員の皆さんにとっては、もちろん晴れの舞台ですし、私たちにしても、年度の始めの節目であると同時に、何年（何十年？）か前のあのときの気持ちを思い出させてくれる行事でもあります。

もしかすると、社誌もコスト削減に迫られている、ということなのでしょうか。

（山形・女・29歳）

社内テレビ放送スケジュール

●VIDEOニュース放送日程

9時から19時までの毎正時放送。それぞれ約10分間，同じ番組を放送します。

5月15日号　**5月15日㈬・16日㈭・17日㈮**

6月1日号　**5月30日㈭・31日㈮・6月3日㈪**

★都合のよい日時を選んで，ぜひご覧ください。

お問い合わせは，本店広報部・山田＜TEL(保安)911-2426 電子メール0002020＞までお気軽にどうぞ。
ご意見・ご感想・情報提供などもお待ちしています。

編集後記

私は買い物があまり好きではない。第一に面倒くさいし、決して上手とは言えないからである。

例えば、卵とハムと牛乳を買いに、スーパーマーケットに行く。そうすると、あまりにもたくさんの物が売られていることが嬉しくて、私は舞い上がってしまい、余計なものに手がのびて、挙げ句の果てに、卵を買い忘れる。そうして次の日、卵を買うために、また、買い物に行く。同じことの繰り返し。間違いは繰り返さないほうがいいに決まっている。勿論。

しかし、もうそれが自分の意志でしたことであれば、たとえやり直しがきくとしても私は同じことをする、同じ選択をするんだ、と言い切れるような毎日を過ごしていきたいと、私は思っている。

（K）

五月五日はこどもの日、普段なかなかお子さんと過ごす時間のない方も、遊ぶ機会を設けられたことと思います。

さて、子供というのは実にユニークな発想を持っており、その発想が貴重な発明や発見につながることも多々あるようです。

例えば、お医者さんが使う聴診器。十九世紀初頭、フランスの医師が、子どもたちが木の棒を胸にあてて遊んでいる光景を見て患者の胸に紙の筒をあててみたところ、心臓の鼓動がはっきりと聞こえることを発見し、聴診器の発明につながったということです。この発明は、その後の内科技術の画期的な進歩につながり今日に至っています。こうした子どもたちの何気ない遊びや発想の中に、われわれ大人たちが学ぶべき点や、問題の解決につながる糸口が隠されているのかもしれません。

「ウンチ君」と呼びながらハッシュドビーフをほおばるわが子の姿を見ながら、そんなことを考えてみました。

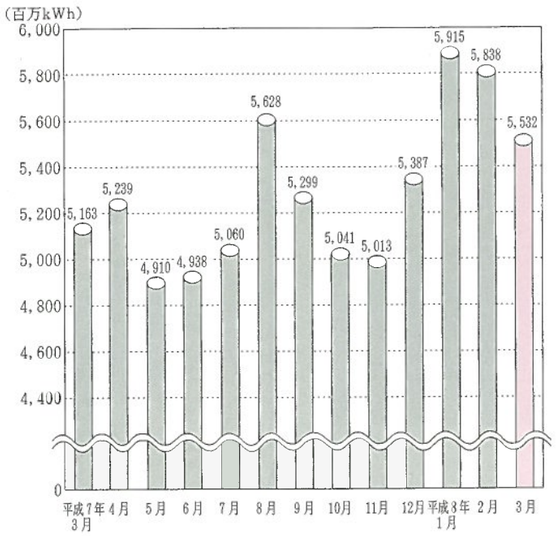
（Y）

平成8年3月

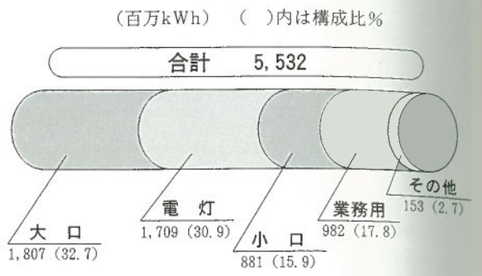
電力需給実績

販売電力量
前年実績を7.1%上回る

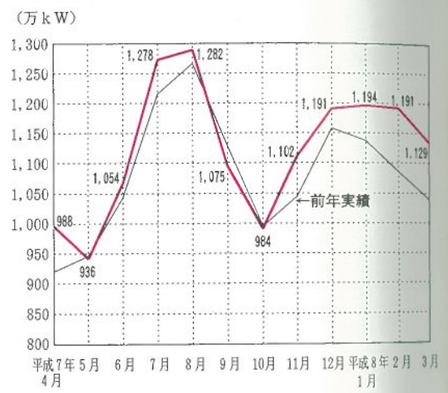
■販売電力量



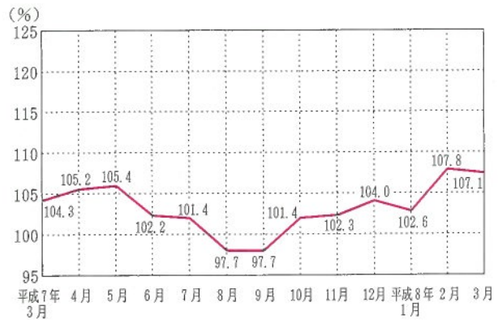
■用途別内訳



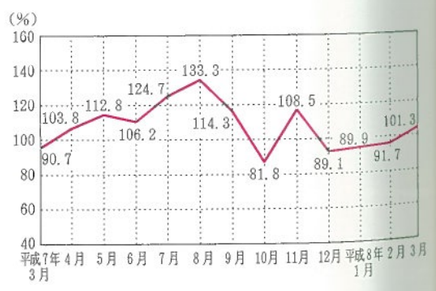
■最大電力月別推移



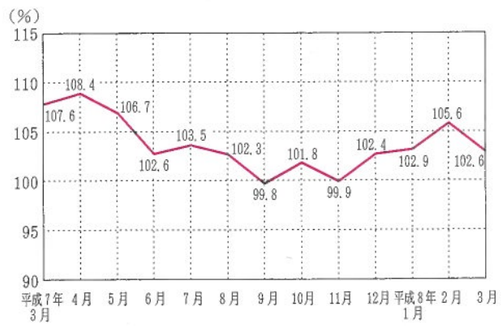
■販売電力量対前年比



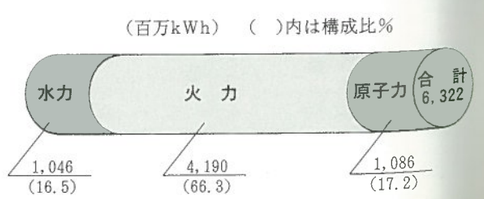
■出水率



■大口電力対前年比



■エネルギー別発受電電力量



ホチキスでとめてください

ホチキスでとめてください

みなさんの声お待ちしています

本店 広報部
社誌「Bridge」編集担当行

1996
5月号
Vol. 430

ここを山折りにしてください

Bridge

ここを山折りにしてください

みなさんの声
お待ちしています

今月号の内容について，そして社誌「Bridge」について，ご意見・ご感想をお寄せください。
掲載させていただいた方には謝礼を差し上げます。

所　属

氏　名

性　別　男・女　　年　齢　　歳

HOT SPOT IN 東北

ホットスポットイン東北

長井市古代の丘

（山形県・長井市）



広大な山麓に，古代世界を再現した「古代の丘」。土器づくりなどの縄文生活が体験できる「なしの木むら」や，遺跡からの出土品が展示されている「古代の丘資料館」など，たくさんの広場や施設が点在しています。中でも，大小15体ものユーモラスな土偶が群立する「土偶群像」は圧巻。緑豊かな丘陵地に先人たちの息吹があふれています。



●施設紹介

施設概要／長井市古代の丘資料館（常設展示室・企画展示室・収蔵展示室・研究室・作業室・収蔵室），なしの木むら（6人収容の竪穴式住居5棟・炊事場・トイレ），バンガロー（8人収容6棟・炊事場・トイレ），長者屋敷遺跡，土偶群像，太陽の広場，水の広場，星の広場

開館時間／資料館…午前9時～午後4時

休 館 日／資料館…毎週月曜日
（祝日の場合は翌日）
・12月16日～4月15日
なしの木むら
11月1日～4月30日
バンガロー
11月1日～4月30日

入 館 料／無料，バンガロー1棟2,000円

☎0238—88—9978

